

世界史B

第4問 問6 「27」

複数の資料の情報と知識を結びつけて考察する問題で、各学力層で差がついた

問6 下線部①に関連して、イギリスで産業革命が始まった一因として、オランダやフランスとの覇権争いによって海外市場や原料供給地が確保されたことがあげられる。次のグラフは、この時代のイギリスの財政状況の変化をあらわしたものである。グラフの説明中の空欄 **工** に入れる記号 a・b と、空欄 **オ** に入れる文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

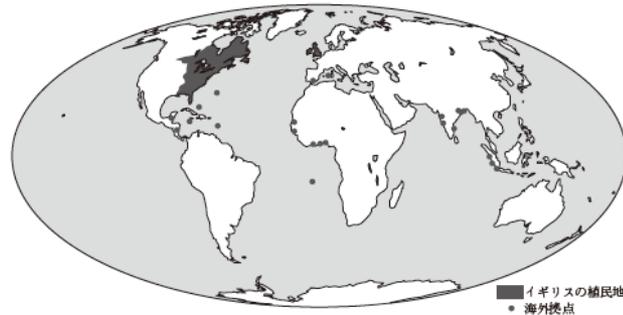
グラフ

グラフ:イギリスの財政状況の変化
(著作権の都合により非掲載)

説明

グラフをみると、歳出が歳入をこえて突出して増加している時期がある。それらの時期には、軍事費の増加が歳出を押し上げていることから対外戦争を行っていたと考えられる。イギリスは、グラフ中の **工** の時期の戦争終結までに図で示された植民地・海外拠点を獲得したが、軍事費が多くを占める歳出を支えるために、このグラフで示した時代の当初から **オ** 。その結果、対外戦争を遂行するイギリスの財政的能力は他国に比べて急速に高まっていた。

図

**オ** に入れる文

- X イングランド銀行を設立し、政府が国債を発行した
Y アメリカ植民地に対して、印紙法などを制定して間接税を課した

- ① エー a オー X
② エー a オー Y
③ エー b オー X
④ エー b オー Y

第4問 問6 「27」

正解率	31.1%
SS70~75	72.2%
SS65~70	48.5%
SS60~65	37.5%
SS55~60	32.7%
SS50~55	28.7%
SS45~50	28.4%
SS40未満	24.4%

2022年度第1回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「世界史B」

受験者数: 62,561人
平均点: 49.6点
標準偏差: 19.3

世界史B

第4問 問6 「27」

複数の資料の情報と知識を結びつけて考察する問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第4問の問6は、初見の複数の資料から情報を読み取り既存の知識と結びつけて考察する問題で、各学力層で差がつかしました。

ここでは、説明文を手がかりに、イギリスの財政状況の変化を表したグラフと、イギリスの植民地や海外拠点を示した地図との関連性を読み取ることが解答のポイントとなりました。地図にある植民地をイギリスが獲得した戦争として七年戦争を想起し、グラフ中の時期と結びつけて考察する力が問われました。

指導のご提案

知識の整理と習得は進められていても、資料から読み取った情報と、習った知識を関連づけて考察する力の育成はまだ十分ではないという時期かと思われます。これからの2か月で、資料を用いた実戦的な問題演習を重ねるとともに、「資料で何を述べているのか、表しているのか」という視点や、「知識と関連づけて考える」という視点で学習をすすめることが大切です。

共通テストでは、文献資料やグラフ・表や地図、また写真や模式図などのさまざまな資料が提示され、そこから情報を読み取り、背景・原因・影響・結果、関連性など、事象相互のつながりに着目し、関連づけて考察する出題がされます。上記の観点で資料読解をしていくことが、資料の着眼点を見つける力の育成につながります。